

# 千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

## 1 評価機関

名 称	株式会社 学研R&C
所在地	東京都大田区仲池上1-17-15 学研第2ビル
評価実施期間	平成19年10月1日～平成20年1月31日

## 2 評価対象事業者

名 称	浦安市立浦安駅前保育園	種別： 保育所
代表者氏名	篠田 哲寿	定員（利用者人数）： 60名
所在地	千葉県浦安市猫実4-19-24	TEL 047-381-7802

## 3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

### ◆ 特に評価の高い点

園舎は設計段階から法人がかかわっており、保育室の各所には、角がないようしたり、コンセントの位置に配慮したりするなど、安全確保のための工夫がみられます。また、保育室の掃除当番表があり、毎日清掃が行われ、保育室内外は清潔に保たれています。当施設内には、「子育て支援センター」のほかに「高齢者デイサービスセンター」があります。定期的にお便りを出し、地域の親子に、相談や遊びや高齢者との交流などに参加してもらっています。

子育て支援ルームは採光もよく、ほどよい広さで、親子が数組話し合ったり、また、園長への相談などが気兼ねなくできるようになっています。さらに、3階にある広いホールも利用できます。ホールでは、地域の親子の誕生会を催したり、手遊び、製作遊びなどで楽しく過ごしたりすることができます。子育て支援センターが発行している「キッズだより」は地域の保育園や公民館、市役所、市の子育て支援センターに置いてあり、いろいろな催し物の案内をして参加を呼びかけています。また、公民館に子育て支援担当の職員が出向いて、「出前保育」も行っています。

保育サービスに関しては、子どもの発達を判断するパソコンソフトを使って、園児の各種データを記録しチェックしています。園長は職員と、このデータを使って、一人ひとりについて話し合いをもち、保育の方向性を確認しています。また、異年齢保育を実施しているので、2、3歳児と4、5歳児はいっしょに楽しく生活しています。

保育士はおだやかで、子どもの話をじっくりと聞くように心がけています。カウンセリング研修に参加した保育士が職員会議で報告をし、子どもへの対応について振り返る機会をもっています。職員会議でクラスの状況や子どもの様子を話し合い、全職員が一人ひとりの子どもについて共有を図るよう努めています。

### ◆ 特に改善を求められる点

公設民営をはじめ、まだ3年目です。建物も新しく、教材、玩具とも整えた状態なので、ハード面では特に問題はないといえます。しかし、人材面では、保育士が若く、保育経験がまだ十分ではありません。そのため、保育の質や就労環境などを考えると、職員の適正配置や職員教育面で、具体的に計画を立て、早急に改善を進める必要があります。現状を考慮して、平成20年1月に二人、3月に一人、新人を採用する予定です。採用後に向けての育成計画や全体の職員配置などに取り組んでいます。

なお、「保育サービス利用者調査」の結果にも現れていますが、利用者のニーズを把握し利用者満足の向上を図ることも課題です。その一環として、保育参観・保育参加を随時行う体制や、入園時以外にもクラス懇談会の機会を設けるなど、利用者満足の向上に向けたさまざまな取組を期待します。

また、日々の子どもの様子や着脱の際に身体を観察するなどの注意は払っていますが、虐待防止・対応マニュアルがないので、これらを整備し、職員研修を実施して、虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努めるよう希望します。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

いま一步の部分がまだまだ残っているという感想です。  
一つずつ達成していきたいと考えています。

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

開園以来、職員が子どもに接する部分の教育について特に力を入れてきました。おかげ様で職員は子ども達を第一に考えられるようになり、子ども達もそれに応えてくれるように、毎日伸び伸びと楽しくやってくれているようです。

その反面、管理面、事務手続き面が遅れてしまったのかもしれませんが、この評価結果を見るとそのことが反映されています。一つ一つ改善していくつもりですが、保育園で重要なことは子どもと接する部分です。この部分では良い評価をいただいていると思います。

## 千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

### 6 分野別特記事項

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
Ⅰ	
福祉サービスの基本方針と組織	<p>当保育園は母体が社会福祉法人「茂原高師保育園」です。公設民営をはじめて3年目の保育園です。従って、まだ建物は新しく機能的な設備で使いやすく、教材も玩具も子どもたちのことを考えて十分に整えられています。施設の設備や環境については当分大丈夫なので、現在はもっぱら中で働く職員の組織強化に力を注いでいます。</p> <p>現在のところ職員の数がたりず業務の負担が増えています。ですから職員の物理的な数の増加が急務です。公設民営なので予算に限りはありますが、現実には平成20年度から3人増やす計画です。その職員募集に関しても現状の職員がチームをつくり、募集から育成プログラムの作成まで、全員であたっています。そして、仕事の中身も優先順位をつけて行うようにしていくなど、種々の工夫をして職員の労働強化にならないように努力しています。</p>
Ⅱ	
組織の運営管理	<p>安全管理については神経をつかっています。怪我や緊急時には、担任、主任、園長へと、場合によっては囑託医までの連絡網が職員全体に周知されていますし、マニュアル類も完備しています。さらに、緊急時においては、交通機関の麻痺によるお迎え困難を想定して、飲料水、食料、おむつなどを備蓄しています。市役所と保育園との連絡体制については、通信設備が不能になった場合でも、可搬式の防災無線を設置しています。</p> <p>また、不審者対策として事務室に来客者用のTVを設置しています。事故についても未然に防ぐことが大事と考え、ジャンル別の事故予防チェックシートを作る予定です。</p>
Ⅲ	
適切な福祉サービスの実施	<p>子どもの発達を判断するパソコンソフトを使って、園児の各種データを記録し発達のチェックしています。このデータをもとに、園児一人ひとりについて話し合いをもち、保育の方向性を確認しています。未満児は2か月に1回、以上児は3か月に1回、この作業を行っています。また、保護者との面談の際にも役立てています。</p> <p>アレルギーのある子、気になる子などについては、児童票などに課題を明示していますが、今後の課題として、園児すべてについて、個別に具体的なニーズや課題を明示した、個別指導計画を策定して実施し、その過程を記録することを望みます。</p> <p>また、利用者からの意見・要望に対しては、園長名で文書化して迅速に回答したり、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員なども設置したりしていますが、保護者には十分周知されていないようです。今後、苦情解決のしくみを説明したポスターの掲示、資料の配布や第三者委員の周知などを図るよう希望します。</p> <p>さらに、職員の対応について、マニュアルなどを作成し、サービスの標準的な実施方法について、研修や個別指導などによって職員に周知徹底することを期待します。</p>

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
Ⅳ	
サービスの内容	<p>当園は、2歳児と3歳児、4歳児と5歳児がそれぞれ同保育室で保育が行われており、日常的に自然な異年齢交流が図られています。いっしょに散歩に行ったり、楽しく食事をしています。</p> <p>園の建物には、高齢者のデイサービスセンターが併設されており、デイサービス利用者と毎月誕生会をいっしょにしたり、お店屋さんごっこに招待したり、デイサービスの縁日に子どもが参加をするなど、高齢者とかかわる機会を多く持っています。</p> <p>複数の栄養士により常に給食の献立・調理の工夫をし、子どもが安心して食べられるよう日々努力をしています。調理員が子どもといっしょに給食を食べたり、栄養士・調理員と保育士が率直に意見交換をしています。</p> <p>各保育室は、遊びと食事のコーナー分けがされていて、遊びのコーナーは、遊具が子ども的人数に対して十分に用意され、子どもが好きな遊びを楽しめるようになってきました。また、保育室内は安全確保のための工夫が各所に見られます。</p>

福祉サービス第三者評価共通項目（施設系）の評価結果					評価結果	
大項目	中項目	小項目	項目		評価結果	
I 福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念・基本方針の確立	1	①理念が明文化されている。	b	
			2	②理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	
		(2) 理念・基本方針の周知	3	①理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	b	
			4	②理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b	
	2 計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンの明確化	5	①中・長期計画を踏まえた事業計画が作成されている。	a	
			6	①事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	a	
		(3) 計画の適正な策定	7	①施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	a	
	3 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者のリーダーシップ	8	①質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	a	
			9	②経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a	
II 組織の運営管理	1 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等への対応	10	①事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。	a	
			11	②経営状況を分析して、改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a	
	3 人材の確保・養成	(1) 人事管理体制の整備	12	①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	a	
			13	②人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行っている。	b	
			14	③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	a	
		(2) 職員の就業への配慮	15	①事業所の就業関係の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	a	
			16	②福利厚生に積極的に取り組んでいる。	a	
			(3) 職員の質の向上への体制整備	17	①職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。	a
	18	②定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		a		
	19	③実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている		b		
	4 安全管理	(1) 利用者の安全確保	20	①緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a	
			21	②利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	a	
	5 地域との交流と連携	(1) 地域との適切な関係	22	①地域との交流・連携を図っている。	a	
			23	②利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用している。	a	
			24	③事業所が有する機能を地域に還元している。	a	
			25	④関係機関等との連携が適切に行なわれている。	a	
			26	①地域の福祉ニーズを把握している。	b	
		27	②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a		
	III 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者尊重の明示	28	①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	b
				29	②プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で行っている。	b
(2) 利用者満足の向上			30	①利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a	
			31	②利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている	a	
(3) 利用者意見の表明			32	①苦情又は意見を受け付ける仕組みがある	b	
			33	②寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	b	
		34	③利用者からの意見等に対して迅速に対応している	b		
2 サービスの質の確保		(1) サービスの質の向上への取り組み	35	①サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a	
			36	②課題発見のための組織的な取り組みをしている。	a	
			37	③常に改善すべき課題に取り組んでいる。	a	
		(2) サービスの標準化	38	①職員の対応について、マニュアル等を作成している。	b	
			39	②日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	b	
			(3) 実施サービスの記録	40	①利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	a
41		②利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。		b		
3 サービスの開始・継続		(1) サービス提供の適切な開始	42	①施設利用に関する問合せや見学に対応している。	a	
			43	②サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。	a	
4 サービス実施計画の策定		(1) 利用者へのアセスメント	44	①利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	b	
			(2) 個別支援計画の策定	45	①一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	a
		46		②個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	b	
	(3) 情報の管理	47		③個人情報保護に関する規定を公表している。	b	

福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果				評価結果
大項目	中項目	小項目	項目	
IV 保育所	1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	1 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	b
			2 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
		(2) 健康管理・食事	3 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	b
			4 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
			5 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
			6 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
			7 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
			8 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
			9 アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
		(3) 保育環境	10 子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	a
			11 生活の場に相応しい環境とする取組みを行っている。	a
		(4) 保育内容	12 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
			13 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
			14 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a
			15 身近な自然や社会と関われるような取組みがなされている。	a
			16 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
			17 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
			18 性差への先入観念による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
			19 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a
	20 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。		a	
	21 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。		a	
	2 子育て支援	(1) 入所児童の保護者の育児支援	22 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
			23 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
			24 こどもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
			25 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	b
			26 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
		(2) 一時保育	27 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a

## 項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立浦安駅前保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
I 福祉サービスの基本方針と組織			
I-1 理念・基本方針			
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。			
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	1	b	当保育園は、茂原市の社会福祉法人・茂原高師保育園が運営しています。3年前に公設民営として浦安市で高齢者デイサービスと保育園の事業を始めました。 従って、保育園の理念は、高師保育園にはありますが、当保育園では開設当初は明示していませんでした。今年度は高師保育園と同様の理念を玄関前に掲示しました。理念は、施設運営の根幹をなす大事な姿勢の表明です。 今後は、入園希望者や施設の利用者にも、掲示をはじめ、パンフレットや「入園のご案内」などの方法で、理念の周知を図ることを望みます。
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	a	当保育園は、地域社会全体を踏まえた内容を明確に打ち出すように、基本方針の充実心がけています。基本方針の骨子は、保育園関係、職員の使命、老人デイサービス関係、家庭や地域の関係といった4つの柱に分けて打ち出しています。
I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。			
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	b	理念や基本方針は常勤職員には職員会議で説明し、周知を図っていますが、非常勤職員には短時間での口頭説明しかしていません。従って、非常勤職員は十分理解しているとはいえない状態です。 今後は、常勤も非常勤も全職員が明確に周知するような取組を望みます。
I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	b	保護者に向けては、「浦安駅前保育園のご案内」という冊子に、園の保育方針や特徴についての説明はありますが、理念については明記されていません。玄関に掲示してあるとはいえ、これでは十分理解されているとはいえない状況にあります。平成20年度からは、冊子にも明記して周知を図っていくとの説明がありました。
I-2 計画の策定			
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-2-(1)-① 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	a	公設民営をはじめ、まだ3年目です。建物も新しく、教材、玩具とも整えた状態なので、ハード面での中・長期計画は、具体的には今後の問題と考えています。しかし、人材面では、保育の質や就労環境などを考えると、具体的に計画して早急に進める必要を感じています。従って、平成20年1月に二人、3月に一人新人を採用する予定です。採用後に向けての育成計画や全体の職員配置などに取り組んでいます。
I-2-(2) 重要課題の明確化			
I-2-(2)-① 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	a	単年度計画においては、近隣住民への配慮や発達障害への対応、また、防犯セキュリティの充実などがあります。前項でも述べましたが、課題は職員の充実をいかにして図るかです。公設民営という組織において潤沢な資金があるわけではないので、限られた経費のなかで、どう職員を配置し、質を高めていくかが当園の急務であると考えています。
I-2-(3) 計画が適切に策定されている。			
I-3-(1)-① 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	7	a	具体的には、新規採用の3人に対して、養成研修をどのようにしていくかを職員会議に図り、結果として、職員6人のメンバーでチームを作り、育成プログラムをすることにしました。このように課題があれば、職員会議での話し合いにより管理者の意向がどのようなものがわかり、それに対してどのように進めていくかの合議ができます。

評価基準		評点	コメント
I-3 管理者の責任とリーダーシップ			
I-3-(1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
I-3-(1)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	a	職員の業務が多岐にわたり多忙なので、重点課題と手を省いても支障のないものはなにかを職員と相談して、業務省力化を図るようにしています。また、色々な問題について、いつでも相談にのる体制をとっています。そして、職員には、できるだけ研修に参加して、保育の質を上げる機会を作るように奨励しています。 さらに、園長が収集した参考文献についても、職員に必要な部分はコピーをして、回覧しています。
I-3-(1)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	a	職員配置に配慮しています。子育てを経験したベテラン職員には、乳児を担当してもらったり、また、職員の希望を聞いたりして配置するように心配りしています。非常勤職員には、忙しいところについてももらっています。限られた人数なので、全体的には忙しいのですが、できるだけ働きやすい環境づくりに努めています。
II 組織の運営管理			
II-1 経営状況の把握			
II-1-(1) 経営環境の変化等への対応			
II-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	a	公設民営としての立場を理解するよう努めています。具体的には、保護者は公立の感覚で入所しており、保育内容もかなり上質なものを求めています。しかし、公立と同じようにはいかない場合もあり、保護者からの苦情もまれにあります。 園長は、保護者の苦情は宝と思い、その苦情を真摯に受け止め、園の質の向上につながるようにと努めています。
II-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	a	建物は新しく機能的ですし、近々に改善する必要のあるものはありません。課題は、繰り返し出てくる職員の充実です。職員の人数に関しては、経営的側面からは現状プラス2、3人が限度です。限られた人数のなかで、いかに質の高い保育を維持していくか、また、職員の疲労の蓄積はないのかなど、利用者の満足と、中で働く職員の意欲向上をどう図っていくかが課題です。
II-2 人材の確保・養成			
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
II-3-(1)-①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している	12	a	「全国保育士会倫理綱領ハンドブック」を配布し、とるべき行動について話し合っています。また、「個人情報保護法」について説明し、理解を図ったうえで、全職員から守秘義務に関する誓約書をとっています。
II-2-(1)-②人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的に行っている。	13	b	職員の採用は難しいものと痛感しています。平成19年に一人採用しましたが、20日間でやめてしまいました。いわゆる5月病です。また、園長も退職しました。保護者の方々にも不安感を与えないようにしていく必要があります。従って、平成20年度へ向けて3人の職員を採用するように早めに計画し、すでに11月現在で一人確保しています。年明けに二人採用する予定です。
II-2-(1)-③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	14	a	評価シートを導入しています。年間の中で、職務遂行目標を自ら立て、結果として目標達成しているか自己評価をしてもらいます。そして、管理者が客観的に評価します。具体的には、規律、責任、協調、積極などの分野に則しての評価です。

評価基準		評点	コメント
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
II-2-(2)-①事業所の改善課題について、スタッフ(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	15	a	職員会議で現場の意見を自由に出すことができるようにしています。また、職員をいくつかのグループに分け、それぞれ不定期ですが、園長や主任を囲んで食事会を催し、気軽に話しができるようにしています。そんな話し合いのなかから、複数担任の要望が出て、早速実行に移したのが一例です。
II-2-(2)-②福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	16	a	千葉県の共済の福利厚生を使用しています。また、育児休業など積極的にとるように勧めています。できるだけ快適な職場環境になるよう努めています。平成20年度には、スポーツクラブへの加入を検討しており、加入後、利用を希望する職員がどのくらいいるか調査中です。
II-2-(3) 職員の質の向上への体制整備			
II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	17	a	研修については、基本的な技能の取得はもちろんですが、そのほかに、自園のクラス担任という立場を離れて研修仲間との触れ合いや話し合い、自分のしてきたことの確認や反省、また、ほかの保育士の悩みや目標などを聞く、こうしたことによって、同じ業界で働く人間としての視野を広げてほしい、ということをお話しています。
II-2-(3)-② 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	18	a	上記の方針のなかで、浦安市の年間研修は、できるだけ受講しています。特に、毎年一人、「カウンセリング研修」(これはほぼ1年間という長期にわたる研修)を受けてもらっています。
II-2-(3)-③ 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	19	b	実習生受け入れに関する当園の基本的な立場は、本当に保育士になりたいという気持ちをもっているかどうかで決めています。単なる単位取得や興味だけでは受け入れるつもりはありません。そんななかで、今年は1名の実習生を受け入れました。オリエンテーションや実習プログラムは用意してあります。 今後は、学校側からの書類の中に、守秘義務に関する本人の誓約書を添付するよう要請してください。
II-3 安全管理			
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
II-3-(1)-① 緊急時(事故、災害、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	20	a	怪我や緊急時に、担任、主任、園長へと、場合によっては囁託医までの連絡網が職員全体に周知されています。また、防災、防犯などの安全管理のマニュアルは完備されています。なお、緊急時、交通機関のマヒにより迎えが困難な場合を想定して、飲料水、食料品、紙おむつなどを確保しています。 市役所と保育園の連絡体制については、通信設備が不能になった場合でも、保育園と市役所が連絡を取れるように、可搬式の防災無線を設置しています。
II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	21	a	月1回の避難訓練や年1回の総合訓練をしています。また、職員室に来訪者用のTVを設置し、不審者対策を心がけています。防犯や防災対策については、年度末に見直しをしています。事故については事故報告書を作成して、事故の原因や対策などを検討して、できるだけ未然に防ぐよう心がけています。 今後は、予測される事故について、保育室内、散歩コースの道のりと場所別など「事故予測シート」を作成して日頃から用心すると、より安全確保ができます。



評価基準		評点	コメント
II-4 地域との交流と連携			
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
II-4-(1)-①地域との交流・連携を図っている。	22	a	<p>「子育て支援センター」が施設内にあります。定期的にお便りを出し、地域の親子にできるだけ、相談や遊びに参加してもらっています。子育て支援ルームは採光もよく、ほどよい広さで親子が数組話し合ったり、また、園長への相談などが気兼ねなくできるようになっています。さらに、3階にある広いホールも利用できます。</p> <p>訪問当日は、ホールで地域の親子の誕生会を催していました。手遊び、製作遊びなどで楽しく過ごしている様子がうかがえました。</p> <p>当園は園庭がないので、天気の良い日はできるだけ散歩に出るようにしています。そんな折、地域の人たちにあいさつしたり、会話を交わしたりして、交流を図っています。</p>
II-4-(1)-②利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。	23	a	<p>上記のように園庭がないので、散歩は日常的に行っています。当園の周囲には公園がたくさんあるので、散歩には恵まれた場所にあります。普段は7つの公園を適宜利用しています。当然、年齢、公園までの距離や広さなどは勘案しています。また、公民館の中の体育館も利用しています。ボール遊びや運動会などの行事にも使わせてもらっています。</p>
II-4-(1)-③事業所が有する機能を地域に還元している。	24	a	<p>当施設内には、「子育て支援センター」のほかに「高齢者デイサービスセンター」があります。子育て支援センターが発行している「キッズだより」は地域の保育園や公民館、市役所、市の子育て支援センターに置かせてもらい、いろいろな催し物の案内をして参加を呼びかけています。また、公民館に子育て支援担当の職員が出向いて、「出前保育」を行っています。</p>
II-4-(1)-④関係機関との連携を図っている。	25	a	<p>市の担当保育園の園長会議に出席しています。ここでは、保育園での運営制度の改訂、第三者評価受審の事や市の方針などを話し合っています。そして、職員に知っておいてほしい情報は、職員会議で報告しています。直近の話題では、紙おむつは家庭で処理してもらっていましたが、園で処理するようになった事例があります。</p>
II-4-(2) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
II-4-(2)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	26	b	<p>地域の福祉ニーズについては、問題が発生するような場合を除き、特別に会議をもつことはありません。最近では、虐待を受けている子どもへの対応として、民生委員に連絡し、相談をしています。</p> <p>今後は、地域の福祉ニーズにはどのようなものがあるか、ということに対して、職員全体が情報を収集するような取組を望みます。</p>
II-4-(2)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	27	a	<p>保育園にとって、地域の福祉ニーズとは何かについて、深くは考えていないということです。が、現実には、「地域の子育て支援センター」を設置したり、「キッズだより」を発刊したりと活動を積極的に行っています。また、アンケートを出して母親の要望を調べたりしています。このような活動の延長線上に福祉ニーズに基づく事業・活動もある、と考えることで十分でしょう。</p>

## 項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立浦安駅前保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施			
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス			
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	28	b	<p>プライバシー保護に関する研修は、4月に園長が受けています。その内容については、朝礼や職員会議で伝え周知を図っていますが、職員への研修は行っていません。なお、職員からは誓約書を提出してもらい、そのコピーを各人に渡してあります。</p> <p>今後、早い時期に、勉強会や研修を実施するとともに、研修開催日や参加者が把握できる研修実施記録などを作成することを望みます。</p>
Ⅲ-1-(1)-② プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	29	b	<p>誓約書に、園としてのプライバシー保護の考え方を明記しています。考え方の徹底を図るための研修や勉強会などは現在のところ実施していません。</p> <p>今後、利用者のプライバシー保護について、規程・マニュアルなどの整備や職員への研修を実施し、それに基づいたサービスを実施することを期待します。</p>
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に務めている。			
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	30	a	<p>個別面談を行って、利用者ニーズの把握に努めています。保育参観・保育参加や発表会の後に、園の運営方針などについて説明したり、意見を聞いたりして、利用者満足の向上に反映しています。年1回食事調査を行って、給食の改善などに生かしています。</p>
Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	31	a	<p>誕生日会やおみせやさんごっこの日には、保護者を招待しています。園児たちと楽しく過ごしてもらいながら、園の実態を見てもらったり、意見を聴取したりして、改善のための資料としています。</p>
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(3)-① 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	32	b	<p>日記帳に書かれた苦情・意見などは、担任を通して速やかに園長に伝えられ、対応策を検討しています。「市長への手紙」の電子メールや担当課への投書など、市から伝達される利用者からの苦情・意見についても園長が対処しています。相談室は設置されていますが、意見箱や苦情受け付けポスターの掲示などはないため、利用者への対応が十分とはいえません。今後、これらの整備を望みます。</p>
Ⅲ-1-(3)-② 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	33	b	<p>意見・要望に対しては、園長名で文書化して迅速に回答しています。苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員は設置していますが、保護者には周知されていません。</p> <p>今後、苦情解決のしくみを説明したポスターの掲示、資料の配布や第三者委員の周知などを図るよう希望します。</p>
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	34	b	<p>意見や提案を受けた際の記録はとっています。利用者からの意見を取り入れ、改善できることは速やかに対応しています。</p> <p>今後の課題として、記録の方法、報告の手順や対応策の検討などについて規定した、マニュアルの整備やその定期的な見直しを望みます。</p>

評価基準		評点	コメント
Ⅲ-2 サービスの質の確保			
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている。			
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	35	a	保育の計画から反省まで自己評価を行っています。職員会議、気になる子の会などで、保育内容について評価し改善を図っています。「おかあさんたちの声」ノートなども自己評価の参考にしています。 なお、第三者評価の受審は今回が初めてです。
Ⅲ-2-(1)-② 課題発見のための組織的な取り組みをしている。	36	a	職員会議や主任中心に行う保育内容検討会の場で、課題発見のための話し合いを行っています。こうした話し合いのなかから、気になる子の保育、午睡の場所の衛生面の問題など、クラスを横断したいくつかの課題が見つかり、改善に向けて園全体で取り組んでいます。
Ⅲ-2-(1)-③ 常に改善すべき課題に取り組んでいる。	37	a	前年・前月の計画を評価・分析して、今年・今月はどうか、職員と園長、副園長が検討会を開き、改善策と改善計画を策定しています。計画の実施状況については、園長がチェックし調整を図っています。
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
Ⅲ-2-(2)-① 職員の対応について、マニュアル等を作成している。	38	b	就業規則などがありますが、マニュアル類は必ずしも十分とはいえません。今後はどんな種類のマニュアルが必要か、職員と話し合って整備していくことを期待します。
Ⅲ-2-(2)-② 日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	39	b	マニュアル類の再整備とあわせて、職員や保護者からの意見や提案が反映されるようしくみを整備すると良いでしょう。見直しに関する時期やその方法についてを組織として定めておくこともおすすめいたします。
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-① 利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	40	a	園児一人ひとりの体調の変化は、児童票、健康観察表、保育日誌などに記録しています。記録は標準化された書式で記録されていて、記録者によって、内容にばらつきが生じないように工夫しています。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	41	b	園児の状態に変化があれば、クラス担任からすぐ園長に報告され、園長は直ちに対応を指示しています。朝の状態変化は保護者にも連絡しています。症状によっては、デイサービスセンターの看護師や嘱託医にも相談しています。 なお、口頭や記録などで職員間に情報が的確に届き、共有するしくみを整備することを望みます。

評価基準	評点	コメント
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-① 施設利用に関する問合せや見学に対応している。	42	a 園に関する問い合わせや見学希望には、ていねいに対応しています。見学者には、園内の説明だけでなく、市立保育園への入園のしくみなど、全体的な説明も行っています。園を紹介した資料は、公民館、市役所窓口、子育て支援センター、市立海園の街保育園などに置いています。
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	43	a 保育内容や料金などの重要事項の説明は市役所の担当課が行っています。入園の決まった利用者には、「浦安駅前保育園」の案内資料を使って、詳しく説明しています。
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定		
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-① 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	44	b アレルギーのある子、気になる子などについては、児童票などに課題を明示しています。 なお、今後早い時期に、利用者すべてについて、個別に具体的なニーズや課題を明示し、その対応計画を策定して実施したり記録したりすることを望みます。
Ⅲ-4-(2) 個別支援計画の策定		
Ⅲ-4-(2)-① 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	45	a 子どもの発達を判断するパソコンソフトを使って、園児の各種データを記録しチェックしています。園長は職員と、このデータを使って、一人ひとりについて話し合いをもち、保育の方向性を確認しています。未満児は2か月に1回、以上児は3か月に1回、この作業を行っています。また、このデータは、保護者との面談の際にも使っています。
Ⅲ-4-(2)-② 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	46	b 個別指導計画はありません。保育内容が適切であるかどうかの評価・見直しは、クラスごとに定期的に会議をもったり、必要に応じて、そのつど検討会を開いています。大きな課題のときは、職員会議で全員で検討しています。 なお、個別指導計画については、策定の責任者、見直しの時期、検討会議とその参加職員、利用者の意向把握などについて、その手順や組織的なしくみを早急に整備するよう望みます。
Ⅲ-4-(3) 情報の管理		
Ⅲ-4-(3)-① 個人情報保護に関する規程を公表している。	47	b 個人情報保護に関するガイドラインを記した資料などを使って、職員会議で全職員に周知を図っています。また、この件に関する誓約書を全職員から提出してもらい、そのコピーを個々に渡しています。個人情報を扱った書類はロッカーに保管し、鍵を掛けています。 なお、「入園のしおり」に個人情報保護に関する項目を記載したり、これらに関する規程を園内に掲示したりするなど、早急に対処することを望みます。

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 浦安市立浦安駅前保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
IV 保育所			
IV-1 子どもの発達援助			
IV-1-(1) 発達援助の基本			
IV-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	1	b	事業計画の中に保育方針、保育目標を明示し、基本的な保育の姿勢に基づいて作成しています。保育計画という形では作成していませんが、保護者の実態、地域の実態などを考慮した保育の実践をしています。 園では、基本的な生活習慣を身につけることを大事にし、保護者に対しても呼びかけています。 今後はより明確な保育計画の作成を期待します。
IV-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	2	a	月間指導計画は、各クラス担任が当月の反省のもとに作成し、主任、園長が確認をしています。指導計画には、反省の欄はありませんが、日々の保育日誌には、反省・評価の欄があり、随時見直しを図っています。また、指導計画は保護者の意向も考慮して作成しています。
IV-1-(2) 健康管理・食事			
IV-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	3	b	健康管理に関するマニュアルは作成していませんが、子ども一人ひとりの健康状態については日記帳を使って把握をし、職員間で共有しています。看護師が建物内の高齢者デイサービスセンターに常駐していますので、必要な場合はいつでも判断を仰ぎ、柔軟に対応しています。
IV-1-(2)-② 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	4	a	健康診断、歯科検診の結果については、日記帳に記載をし、異常があった場合には口頭で伝えていきます。歯科検診時は看護師が付き添っています。嘱託医には、子どもが体調不良になったときだけでなく、日頃から相談・助言を得ています。
IV-1-(2)-③ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	5	a	各保育室にはノロウイルス感染症防止策、汚物処理法などの掲示があり、必要に応じて看護師から感染症について伝達をしています。感染症発生時は速やかに掲示して保護者に伝えていきます。 今後はいつでも、だれでも確認できる、よりわかりやすい感染症マニュアルの作成を期待します。
IV-1-(2)-④ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	6	a	当園は、異年齢保育を実施していますので、2、3歳児と4、5歳児はそれぞれいっしょに楽しく食事をしています。行事でバイキングを行ったり、子どもが栽培した野菜を収穫して食べたりしています。行事食は飾りをするなどの工夫をし、子どもから歓声が上がりました。栄養士から子どもたちに、食事のマナーや、旬の野菜の話をするこもあります。
IV-1-(2)-⑤ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	7	a	複数の栄養士により園独自の献立表を作成し、常に献立・調理の工夫をし、新しいメニューにも取り組んでいます。調理員はときどき子どもといっしょに食事をし、子どもの喫食状況の把握に努めています。 保育士は、保育日誌に毎日給食の感想を書き、給食会議では保育士と栄養士・調理員が率直に意見交換をしています。
IV-1-(2)-⑥ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	8	a	保護者には年1回アンケートを実施し、食事調査をしています。毎月、コラム欄のついた献立表を配布し、19年秋から「給食だより」も配布しています。「給食だより」では、朝食の重要性を知らせたり、レシピを紹介したりしています。保護者の希望により、随時レシピを渡しています。食器はアニメキャラクターのついた磁器を使用しています。
IV-1-(2)-⑦ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	9	a	アレルギーのある子どもには、専門医の指導のもとで、保護者と細かい面談を行ったうえで除去食・代替食を提供しています。見た目もほかの子どもの食事と変わらないよう工夫もしています。複数のチェック体制により、誤食のないように努めています。

評価基準		評点	コメント
IV-1-(3) 保育環境			
IV-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	10	a	園舎の設計段階から法人がかかわっており、保育室の各所には、角がないようにしたり、コンセントの位置に配慮したりするなど、安全確保のための工夫がみられます。保育室の掃除当番表があり、毎日清掃が行われ、保育室内外は清潔に保たれています。午睡はコット（簡易ベッド）を使用しています。乳児用の布団の乾燥は布団乾燥機を利用して定期的に行っています。
IV-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	11	a	2歳児と3歳児、4歳児と5歳児はそれぞれ同保育室で保育が行われています。0歳児、1歳児を含め各保育室はいずれも遊びと食事のコーナー分けがされています。午睡はホールも活用するなど、寝・食を分ける工夫もしています。また、各保育室にはソファが置かれ、子どもが一人で絵本を見ながらくつろぐ姿も見られました。
IV-1-(4) 保育内容			
IV-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	12	a	保育士はおだやかで、子どもの話をじっくりと聞くように心がけています。カウンセリング研修に参加をした保育士が職員会議で報告をし、子どもへの対応について振り返る機会もっています。職員会議でクラスの状況や子どもの様子を話し合い、全職員が一人ひとりの子どもについて共有を図るよう努めています。
IV-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	13	a	基本的な生活習慣に関しては、基本方針にも掲げており、園として大事にしている要素の一つです。食事や着替えは子どもの意欲を大切に、子ども一人ひとりの発達状況に合わせて援助しています。歯磨きは0歳から徐々に進め、3歳児ぐらまでは、保育士が仕上げ磨きをしています。
IV-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	14	a	各保育室は、年齢に応じて遊びのコーナーが工夫されており、子どもが好きな遊びを楽しめるようになっています。遊具は子どもの人数に比べて十分に用意され、自分で取り出して遊べるようになっています。保育日誌には保育者の働きかけ・展開、環境構成の欄があり、日々、環境づくりには心がけています。
IV-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	15	a	当園には園庭はありませんが、天気が良ければできるかぎり、散歩に出かけています。固定遊具のある公園にも行ったり、夏はプール遊びも取り入れています。園の建物には高齢者デイサービスセンターが併設されており、毎月デイ利用者と合同で誕生会を行っています。お店屋さんごっこに招待したり、デイサービスの縁日に子どもが参加をしています。
IV-1-(4)-⑤ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	16	a	当園は、2歳児と3歳児、4歳児と5歳児はそれぞれ同保育室で異年齢保育を実施しており、子どもたちはごく自然に過ごしています。活動によっては、年齢別の保育を取り入れています。
IV-1-(4)-⑥ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	17	a	子ども同士のトラブルについては、双方の話を聞き、子どもの気持ちを受け止めるよう心がけています。職員会議でも園長から対応方法について指導・説明しています。外国籍の保護者で、意思疎通が難しい場合は、個別に説明したり、日本語のわかる家族に話をしたりしています。
IV-1-(4)-⑦ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	18	a	男の子、女の子ということに、こだわらないようにしています。日常生活や行事の役割などでも、性別による区別はしていません。卒園式などの場面では、子どもを「さんづけ」で呼んでいます。
IV-1-(4)-⑧ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	19	a	乳児室は、安全で安心して過ごせるよう配慮しています。離乳食は、保護者と連携を図りながら、一人ひとり子どもの状況に合わせて無理なく進めています。調査当日も午睡時に保育士が抱っこして寝かしつけたり、おんぶしたりするなど、子ども一人ひとりの状況に柔軟に対応していることがうかがえました。ホールや散歩先の公園で、体を動かす遊びをできるだけ取り入れています。

評価基準		評点	コメント
IV-1-(4)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	20	a	延長保育は、子どもの様子を見ながらゆったりと遊べるように配慮しています。各保育室にはソファがあり、くつろぐことができ、パズル、折り紙や絵本など、一人で遊べる遊具を用意しています。時間外保育への引き継ぎは各クラスごとの連絡ノートのほかに、育児日記に伝言カードを添付して、確実に工夫を行っています。
IV-1-(4)-⑩ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	21	a	建物はバリアフリー対応になっており、エレベーターも設置されています。障害児や気になる子どもの対応については、職員会議で定期的に話し合いをし、共有化を図っています。こども発達センター、まなびサポートなどとも連携を図り、相談したり助言を受けたりしています。気になる子どもについては、園長が保護者と面談を行っています。
IV-2 子育て支援			
IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援			
IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	22	a	個別に育児日記（連絡帳）があり、日常的な情報交換を行っています。玄関ホールの掲示板で、クラスごとにその日の保育内容を知らせています。個別面談は、希望があれば随時行っています。 なお、個別面談は随時可能であることを、「園だより」などで知らせるとよいでしょうか。
IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	23	a	家庭の状況や保護者との情報交換の内容については、必要に応じて、児童票などに記録しています。アレルギーのある子どもについては、個別のファイルに食事調査や面接状況を記録しています。
IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	24	a	懇談会は、入園時にのみ行っています。毎年6月に保育参観・保育参加の日があり、保護者会も同日に行って全保護者に対して、保育方針や保育内容について説明をしています。誕生日会には誕生月の保護者も参加をしたり、親子遠足、発表会など、保護者が来園したりする機会は多く持っています。 今後は、保育参観・保育参加を随時行う体制や、入園時以外にもクラス懇談会の機会を設けることを期待します。
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	25	b	虐待防止・対応マニュアルはありませんが、日々の子どもの様子や着脱の際に身体を観察するなどの注意を払っています。職員会議で、園長より気になる子どもについて話をしており、保育士が気になる子どもに気づいたときは、速やかに園長に報告する体制になっています。 今後は、虐待防止・対応マニュアルの作成を期待します。
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	26	a	虐待を受けていると疑われる場合には、児童相談所などの関係機関と連携が取れる体制となっています。
IV-2-(2) 一時保育			
IV-2-(2)-① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	27	a	一時保育のための保育室があり、担当者も決められています。3歳児の利用もたまにあるので、遊具の種類は多く用意しています。面談は必ず行い、睡眠の状況や子どもの呼び名も聞くなど、一人ひとりの子どもの日々の状況について把握をしています。誕生会やお店屋さんごっこなどにも参加するなど、通常保育の子どもとも交流を図っています。